

新潟大学「博士のためのキャリアマネジメントセミナー」講義報告

研究者から社内ベンチャーを起業した経験談を元に

講師：木下 泰三

元 (株)日立製作所 IoTクラウド事業部

現 技術経営士



2026年6月9日（火）に、「研究者から社内ベンチャーを起業した経験談を元に」と題して、新潟大学にて約35名の博士課程大学院生と4名の教職員を対象に講義を実施した。

1. 講義内容

講義では、まず最初に私自身の自己紹介も兼ねて、日立製作所の中央研究所に入所した時から、博士号を取得するまでと、研究所から社内ベンチャーを起業して新事業を創生する時期、そして新事業が認知され新たな事業部を発足させるまでの経緯を概説した。

続いて、研究の過程における世界No.1を目指す心意気、新事業推進室における新事業の創生手法の実験的勉強と挫折、事業の本質を知った上で更なる研究マネジメントの在り方、そして自分の技術を武器に社内ベンチャーを起業する経験と苦労話、最後に市場の先見的タイミングに合った事業部創設へのEXIT、の各過程でのリアルな気づきや課題、苦労話をする事により、新事業創生に重要ないくつかの示唆を受講生に示した。

2. 質疑応答、感想

講義後に約35名からの「意見・感想」と6名からの興味深い「質問」を頂いた。リアル感のある講義でプロジェクトXを見ているようだ、想像以上にベンチャー経営者の仕事量と幅が大きいことを痛感した、など実際にベンチャー企業を目指している学生も多く、経営者の心構えや人格論などの側面も含めて具体的理解を得たと感じた。